

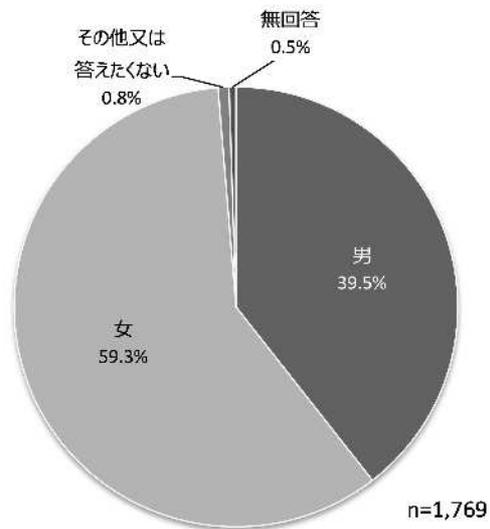
市民アンケート調査における回答者属性について

本アンケートでは、回答者属性に関して、以下の10項目を質問しました。

① 性別	⑥ 居住の開始時期
② 年齢	⑦ 住居の種別
③ 職業	⑧ 住み心地について
④ 居住地区	⑨ 居住継続の意向
⑤ 居住の経緯	⑩ 同居家族

① 性別

回答者の性別は、男性が39.5%、女性が59.3%となっています。平成29年4月30日現在の西宮市の16歳以上の人口(住民基本台帳登録人口)と比較すると、女性の回答割合が高くなっています。

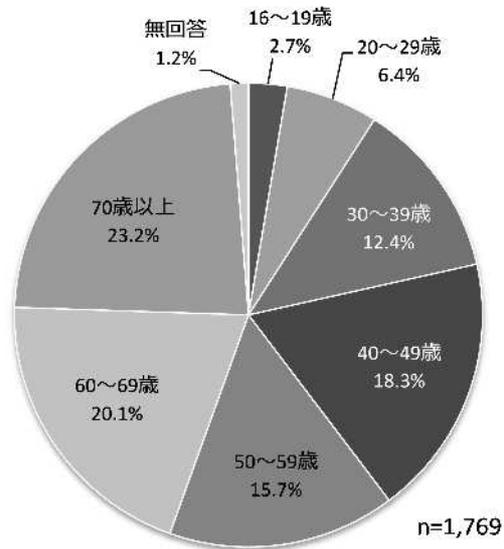


回答者と西宮市の16歳以上人口の構成比

	回答数	構成比	住基人口	構成比
男性	698	39.5%	191,396	46.6%
女性	1,049	59.3%	218,908	53.4%
その他	14	0.8%	—	—
無回答	8	0.5%	—	—
合計	1,769	100.0%	410,304	100.0%

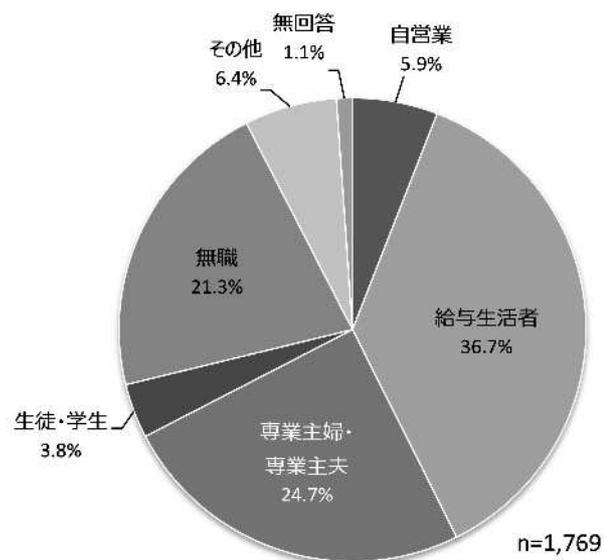
② 年齢

年齢は、「70歳以上（23.2%）」が最も多く、次いで「60歳代（20.1%）」、「40歳代（18.3%）」、「50歳代（15.7%）」、「30歳代（12.4%）」、「20歳代（6.4%）」、「10歳代（2.7%）」の順に続いています。



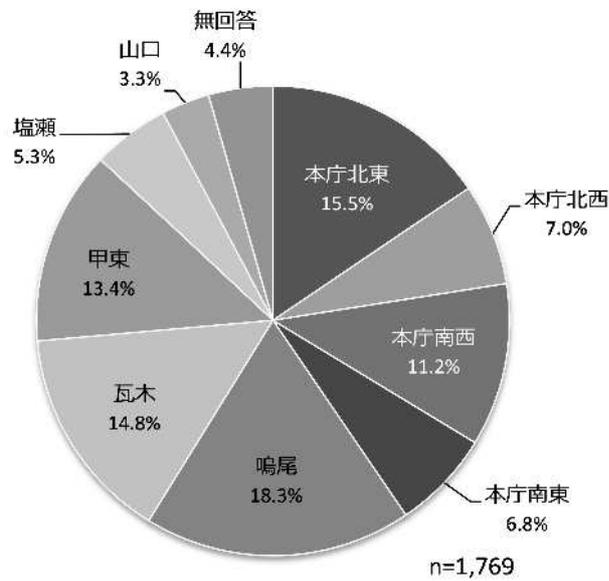
③ 職業

職業は、「給与生活者（36.7%）」が最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫（24.7%）」が多くなっています。



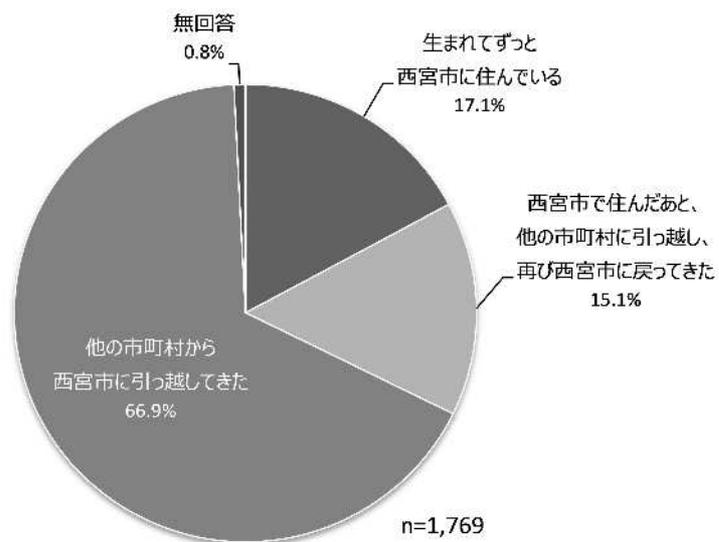
④ 居住地区

居住地区は、「鳴尾（18.3%）」が最も多く、次いで「本庁北東（15.5%）」が多くなっています。



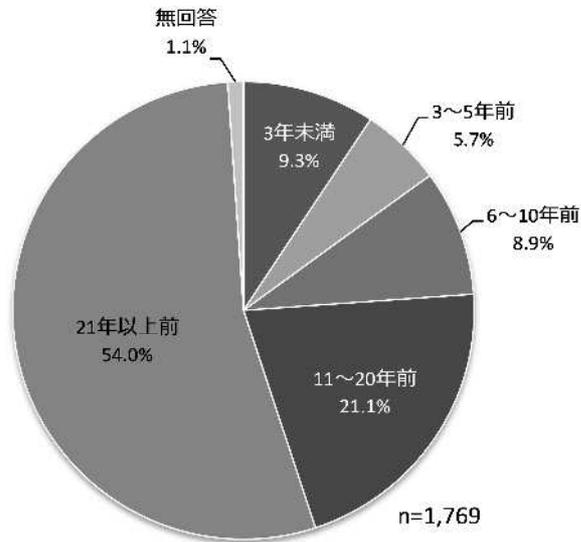
⑤ 居住の経緯

居住の経緯は、「他の市町村から西宮市に引っ越してきた」（66.9%）が最も多く、次いで「生まれてずっと西宮市に住んでいる」（17.1%）が多くなっています。



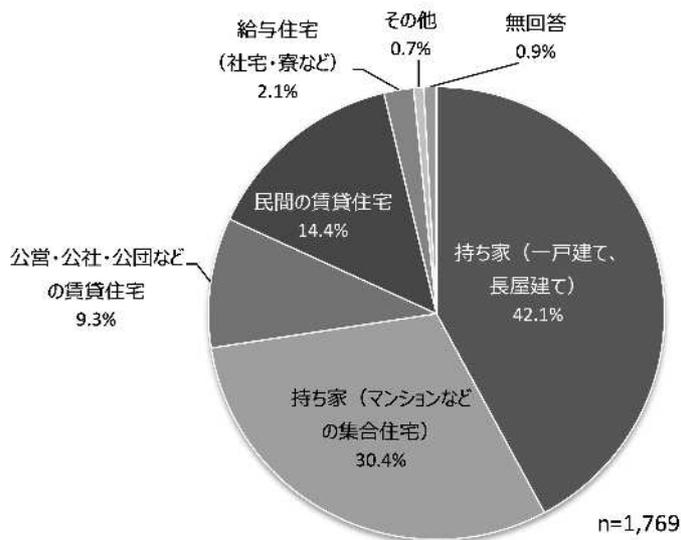
⑥ 居住開始時期

居住開始時期は、「21年以上前（54.0%）」が最も多く、次いで「11～20年前（21.1%）」が続き、全体の半数以上が居住歴21年以上、7割以上が11年以上となっています。



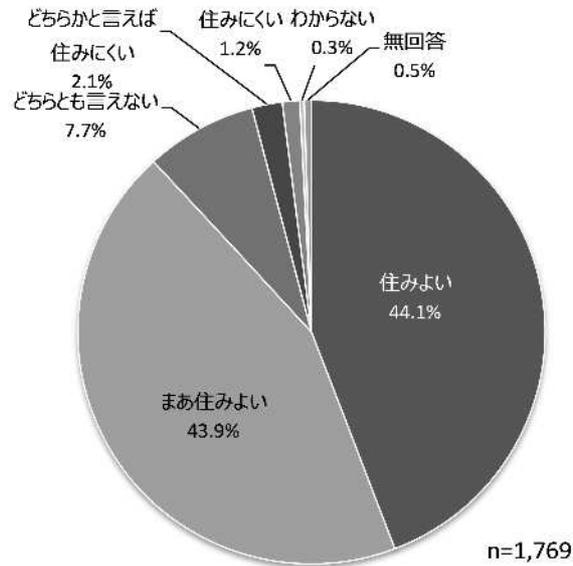
⑦ 住居の種別

住居の種別は、「持ち家（一戸建て、長屋建て）（42.1%）」が最も多く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）（30.4%）」が続き、全体の7割以上が持ち家に住んでいます。



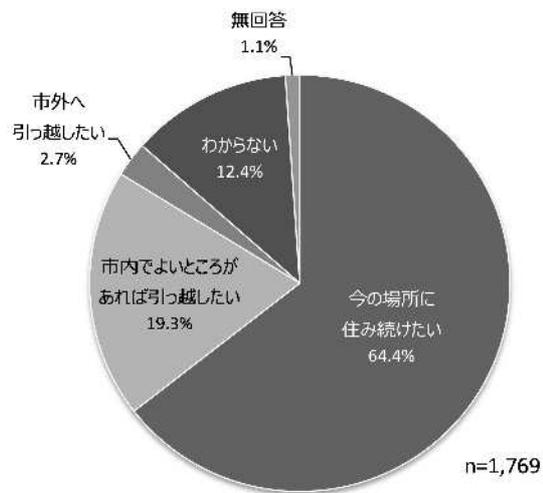
⑧ 住み心地について

住み心地については、「住みよい(44.1%)」が最も多く、次いで「まあ住みよい(43.9%)」が続き、全体の約9割が住みやすいと回答しています。



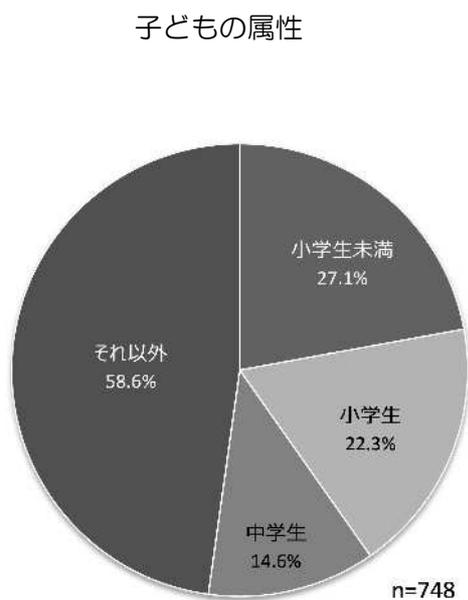
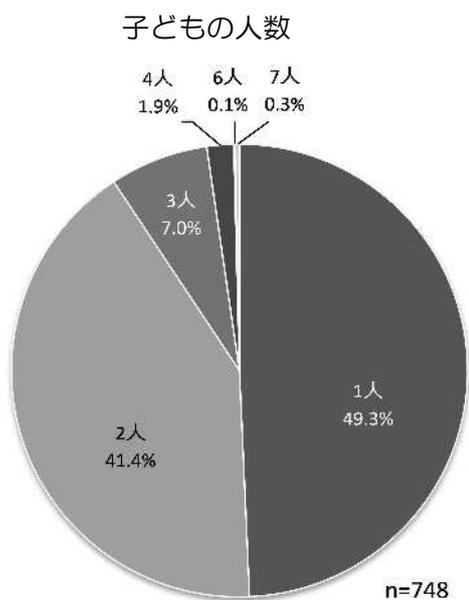
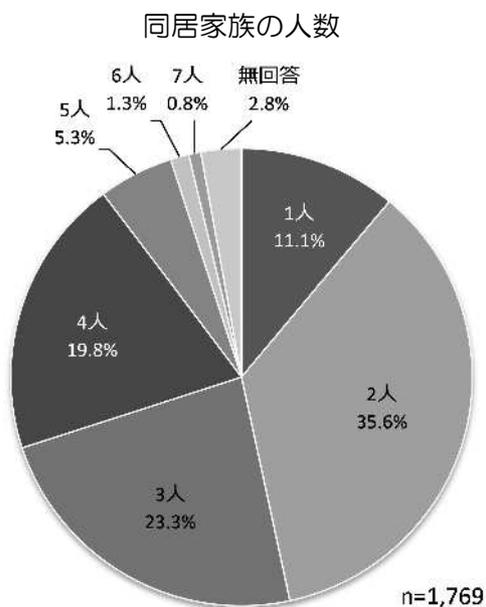
⑨ 居住継続の意向

居住継続の意向は、「今の場所に住み続けたい(64.4%)」が最も多く、全体の6割以上が現在の住んでいる場所での居住継続を望んでいます。次いで「市内でよいところがあれば引っ越したい(19.3%)」が多くなっており、全体の8割以上が西宮市内での居住継続を希望しています。



⑩ 同居家族

同居家族の人数は、「2人（35.6%）」が最も多く、次いで「3人（23.3%）」が多くなっています。子どもの人数は、「1人（49.3%）」と「2人（41.4%）」で全体の9割を占めます。子どもの属性は、「それ以外（58.6%）」、「小学生未満（27.1%）」の順で続いています。



転出入の状況に関する資料

本市の直近の人口移動状況について、住民基本台帳から 2013年（平成25年） 及び 2017年（平成29年） の、近隣市区 及び 首都圏 との転出入の状況を以下に示す。

1. 転出入の状況

(1) 近隣市区等との転入超過・転出超過の状況

- 神戸市をはじめ本市からみた西部地域からの転入超過が継続する一方で、**東部地域への転出超過**の傾向が現れており、特に2017年（平成29年）では**大阪市、尼崎市への転出超過**が顕著となっている。

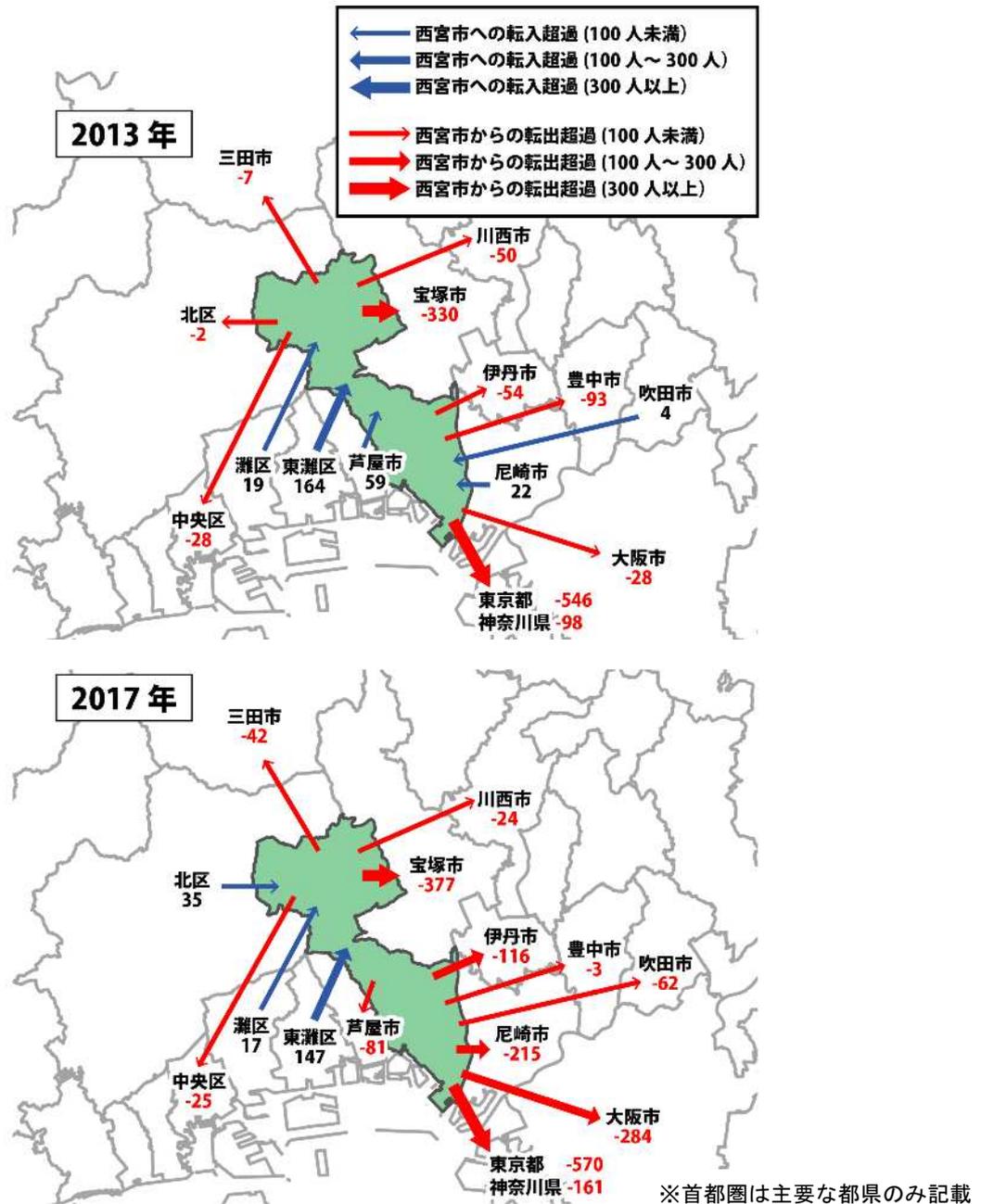


図. 1 近隣市区等との転入超過・転出超過の状況

(2) 近隣市区等との転出入の状況

- 2017年（平成29年）では、2013年（平成25年）と比較して近隣市からの転入が減少している。

表. 1 近隣市区等との転出入の状況 単位：人

自治体名	区分	2013年 (平成25年)	2017年 (平成29年)
神戸市東灘区	転入	767	729
	転出	603	582
	転入－転出	164	147
神戸市灘区	転入	302	294
	転出	283	277
	転入－転出	19	17
神戸市北区	転入	383	379
	転出	385	344
	転入－転出	-2	35
神戸市中央区	転入	330	348
	転出	358	373
	転入－転出	-28	-25
尼崎市	転入	1,381	1,235
	転出	1,359	1,450
	転入－転出	22	-215
芦屋市	転入	714	527
	転出	655	608
	転入－転出	59	-81
伊丹市	転入	333	342
	転出	387	458
	転入－転出	-54	-116
宝塚市	転入	732	651
	転出	1,062	1,028
	転入－転出	-330	-377
三田市	転入	203	181
	転出	210	223
	転入－転出	-7	-42
川西市	転入	150	133
	転出	200	157
	転入－転出	-50	-24
大阪市	転入	1,843	1,730
	転出	1,871	2,014
	転入－転出	-28	-284
豊中市	転入	237	289
	転出	330	292
	転入－転出	-93	-3
吹田市	転入	222	166
	転出	218	228
	転入－転出	4	-62
近隣市計	転入	7,597	7,004
	転出	7,921	8,034
	転入－転出	-324	-1,030

自治体名	区分	2013年 (平成25年)	2017年 (平成29年)
東京都	転入	1,593	1,586
	転出	2,139	2,156
	転入－転出	-546	-570
神奈川県	転入	834	706
	転出	932	867
	転入－転出	-98	-161

※首都圏は主要な都県のみ記載

(参考：神戸市との転出入の状況)

自治体名	区分	2013年 (平成25年)	2017年 (平成29年)
神戸市	転入	2,691	2,625
	転出	2,403	2,263
	転入－転出	288	362

※転入－転出について

黒字：転入超過

赤字（マイナス）：転出超過

2. 年齢別の転出入の状況

本市への転入、及び本市からの転出する自治体のうち、**上位5位**について**年齢別の転出入者数**を比較した。(上位5位の抽出については、近隣市は市単位、神戸市は区単位、それ以外は都道府県単位とした。)

(1) 転入

- 上位5地域では主に **20歳代半ば～40歳代半ば**、及び **0～6歳**の転入が多く、子育て世帯が転入していると思われる。
- **大阪市**からは主に **20歳代半ば～30歳代半ば**、及び **0～2歳**の転入が多く、子育て世帯が転入していると思われる。しかし、2017年(平成29年)はこれらの年齢層の**転入が減少**している。
- **尼崎市**からは主に **20歳代後半～30歳代**、及び **0～2歳**の転入が多く、子育て世帯が転入していると思われる。しかし、2017年(平成29年)はこれらの年齢層の**転入が減少**している。

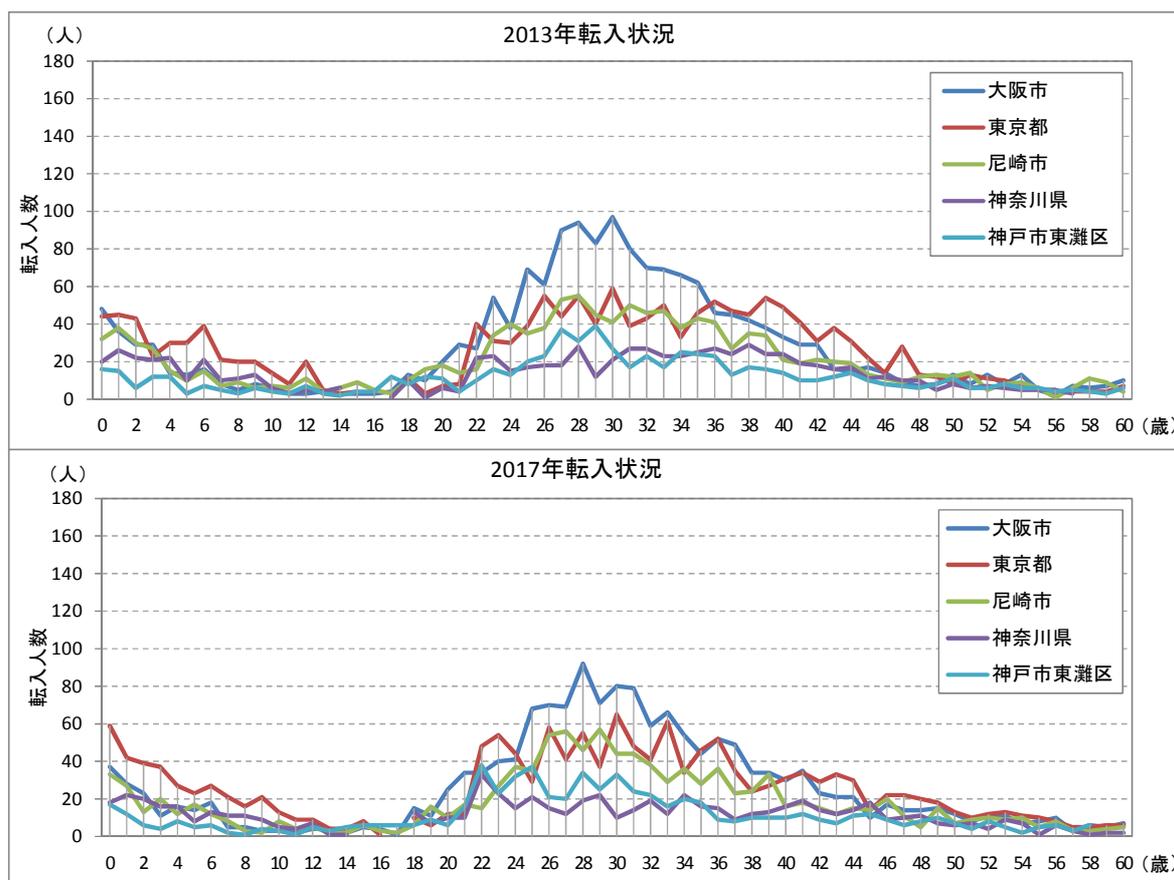


図. 2 年齢別転入状況

(2) 転出

- 上位5地域では主に **20歳代前半～40歳代半ば**、及び **0～6歳**の転出が多く、大学卒業後の就職、あるいは子育て世帯が転出していると思われる。
- **東京都**へは **22歳の転出が最も多く**、就職を期に転出していると思われる。
- **大阪市**へは主に **20歳代**の転出が多く、就職から結婚の時期に転出していると思われる。また、2017年（平成29年）は、これらの年齢層の**転出が増加**している。
- **尼崎市**へは主に **20歳代後半～30歳代半ば**、及び **0～2歳**の転出が多く、子育て世帯が転出していると思われる。また、2017年（平成29年）はこれらの年齢層の**転出が増加**している。

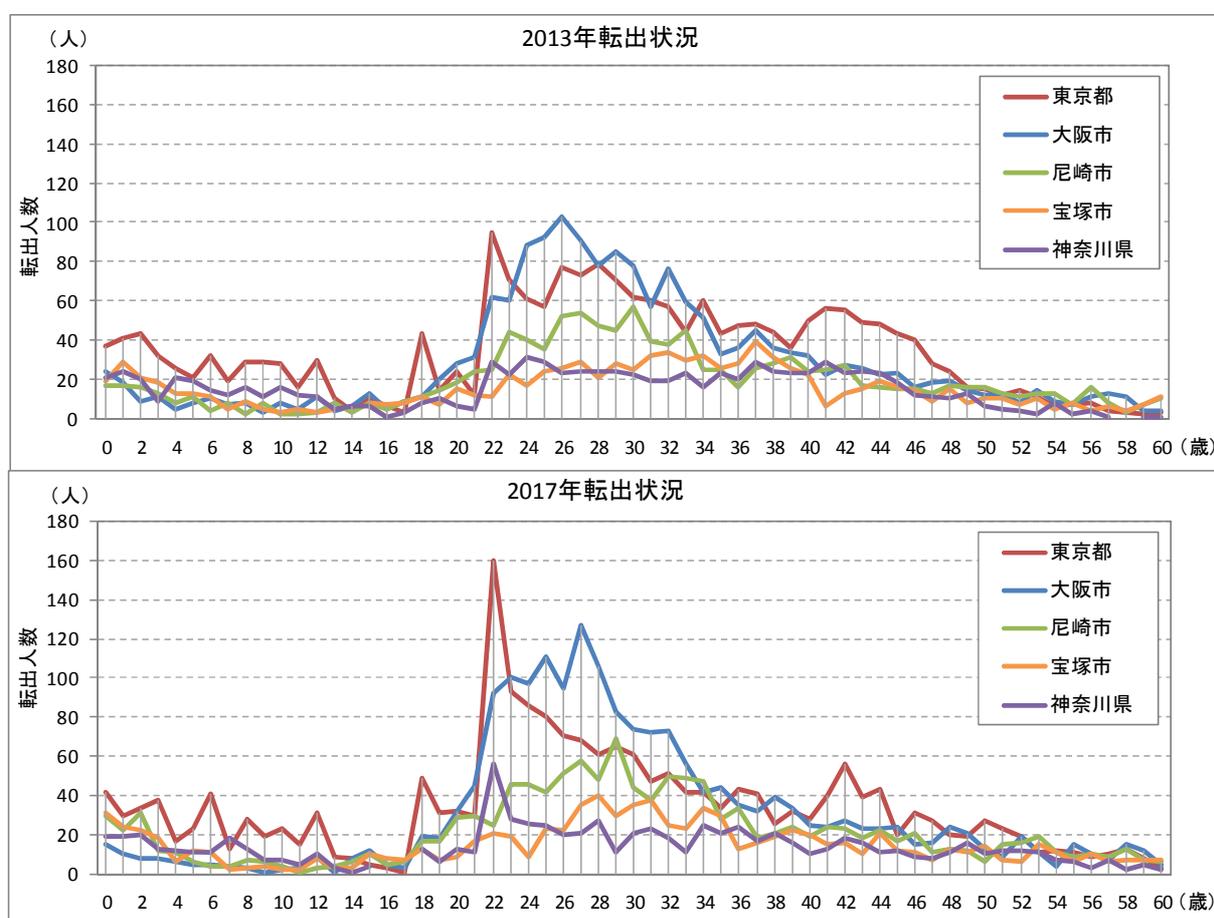


図. 3 年齢別転出状況

他市における総合計画のキャッチフレーズ等について

(1) 近隣市

市名	文句	種別	計画開始年度
神戸市	世界とふれあう市民創造都市	基本理念	H5
芦屋市	自然とみどりの中で絆(きずな)を育み、“新しい暮らし文化”を創造・発信するまち	将来像	H23
尼崎市	ひと咲き まち咲き あまがさき	キャッチフレーズ	H25
宝塚市	市民の力が輝く 共生のまち 宝塚 ～住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたいまちをめざして～	将来像	H28
伊丹市	みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹	将来像	H23
川西市	かわにし 幸せ ものがたり	計画名称	H25
	であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち	将来像	
大阪市	※総合計画を策定していない。		
豊中市	みらい創造都市 とよなか ～明日がもっと楽しみなまち～	将来像	H30
茨木市	ほっといばらき もっと、ずっと	キャッチフレーズ	H27
吹田市	人が輝き、感動あふれる美しい都市 すいた	将来像	H18
箕面市	ひとが元気 まちが元気 やまが元気 ～みんなでつくる「箕面のあした」～	将来像	H23
池田市	「私」が創る 「地域」と育てる 誇りに思えるまち	キャッチフレーズ	H23
	豊かな自然を守り、遊ぶ 歴史に学び、集うにぎわいが人と人をつなぎ、豊かで美しい心が育まれるまち	将来像	

(2) 中核市

市名	文句	種別	計画開始年度
北海道	函館市 北のクロスロード HAKODATE ～ともに始める 未来を拓く～	将来像	H29
	旭川市 世界にきらめくいきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～	将来像	H28
青森県	青森市 水と緑と人が共生し 地域の絆で築く 市民主役の元気都市・あおもり	将来像	H23
	八戸市 ひと・産業・文化が輝く北の創造都市	将来像	H28
岩手県	盛岡市 ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡	将来像	H27
秋田県	秋田市 ともにつくり とともに生きる 人・まち・くらし ～ストップ人口減少 元気と豊かさを次世代に～	基本理念	H28
福島県	福島市 ときめきとやすらぎ 希望にみちた人間尊重のまち 福島市	将来像	H23
	郡山市 人と環境のハーモニー 魅力あるまち 郡山	将来像	H20
	いわき市 創りたい ゆたかな明日、伝えたい 誇れるいわき	キャッチフレーズ	H12

市名		文句	種別	計画 開始年度
栃木県	宇都宮市	輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや	将来像	H30
群馬県	前橋市	新しい価値の創造都市・前橋	将来像	H30
	高崎市	交流と創造～輝く高崎	将来像	H20
埼玉県	川越市	人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越	将来像	H28
	川口市	人としごとが輝くしなやかでたくましい都市 川口	将来像	H28
	越谷市	水と緑と太陽に恵まれた 人と地域が支える 安全・安心・快適都市	将来像	H23
千葉県	船橋市	生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし	基本目標	H12
	柏市	未来へつづく先進住環境都市・柏 ～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～	将来像	H28
東京都	八王子市	人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子	基本理念	H25
神奈川県	横須賀市	国際海の手文化都市	将来像	H9
富山県	富山市	人・まち・自然が調和する活力都市とやま	将来像	H29
石川県	金沢市	世界の「交流拠点都市金沢」の実現 ～市民が創る誇りあるまち～	将来像	H25
長野県	長野市	幸せ実感都市『ながの』 ～”オールながの”で未来を創造しよう～	将来像	H29
岐阜県	岐阜市	人・まち・自然 個性輝く市民協働都市ぎふ	キャッチ フレーズ	H25
愛知県	豊橋市	輝き支えあう水と緑のまち・豊橋	将来像	H23
		ともに生き、ともにつくる	基本理念	
	岡崎市	人・水・緑が輝く 活気に満ちた 美しい都市 岡崎	将来像	H21
	豊田市	つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた	将来像	H29
滋賀県	大津市	ひと、自然、歴史の縁で織りなす 住み続けたいまち“大津再生” ～コンパクトで持続可能なまちへの変革～	将来像	H29
大阪府	豊中市 (再掲)	みらい創造都市 とよなか ～明日がもっと楽しみなまち～	将来像	H30
	高槻市	※キャッチフレーズ等はなし。		H23
	枚方市	持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方	将来像	H28
	八尾市	元気をつなぐまち、新しい河内の八尾	将来像	H23
	東大阪市	夢と活力あふれる 元気都市・東大阪	将来像	H15
兵庫県	姫路市	生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路	将来像	H21
	尼崎市 (再掲)	ひと咲き まち咲き あまがさき	キャッチ フレーズ	H25
	明石市	ひと まち ゆたかに育つ 未来安心都市・明石	将来像	H23
奈良県	奈良市	市民が育む世界の古都奈良 ～豊かな自然と活力あふれるまち～	将来像	H23
和歌山県	和歌山市	きらり輝く元氣和歌山市	将来像	H29

市名		文句	種別	計画 開始年度
鳥取県	鳥取市	いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市	将来像	H28
		鳥取市を飛躍させる、発展させる	基本理念	
島根県	松江市	選ばれるまち松江	将来像	H29
		松江を超える、松江をつくる	基本理念	
岡山県	倉敷市	自然の恵みと ひとの豊かさで 個性きらめく倉敷	将来像	H23
広島県	呉市	「絆」と「活力」を創造する都市・くれ ～協働による自主的で自立したまちを目指して～	将来像	H23
	福山市	ひとが輝き 夢をはぐくむ 未来創造都市 ～ばらのまち 福山～	将来像	H29
		人間環境都市	基本理念	
山口県	下関市	まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ輝き海峡都市・しものせき	基本理念	H27
香川県	高松市	活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松	将来像	H28
愛媛県	松山市	人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま	将来像	H25
高知県	高知市	森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知	将来像	H23
福岡県	久留米市	水と緑の人間都市	基本理念	H12
長崎県	長崎市	個性輝く世界都市 希望あふれる人間都市	将来像	H23
		つながりと創造で新しい長崎へ	基本姿勢	
	佐世保市	ひと・まち育む キラっ都 佐世保 ～自然とともに市民の元気で輝くまち～	将来像	H20
大分県	大分市	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市	将来像	H28
宮崎県	宮崎市	未来を創造する太陽都市「みやざき」	将来像	H30
		地域に愛着をもち、新たな価値を共に創る	基本姿勢	
鹿児島県	鹿児島市	人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま	将来像	H24
沖縄県	沖縄市	国際文化観光都市	将来像	H23
		沖縄市大好き！人・文化・環境をつなぐまち	基本方針	

※上記は、各市ホームページにおける公開情報を本市が独自に収集したものです。

第5次西宮市総合計画 基本構想の構成について

【諮問原案】

序論

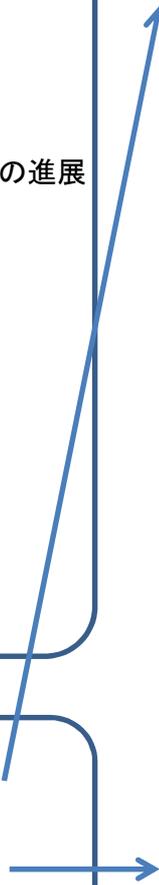
1. 西宮市総合計画とは
 - (1) 計画の構成
 - (2) 計画の期間
2. 時代認識
3. 西宮市の現状と課題
 - (1) これまでの総合計画とまちづくりの進展
 - (2) 人口の推移
 - (3) 公共施設の大量更新
 - (4) 経済・財政状況
 - (5) 市民の意識
 - (6) 都市空間形成の現状
 - (7) まちづくりの主要課題

将来像

1. まちや人の姿
2. 都市空間形成の基本的な方向性
3. 将来像の実現に向けて

【試案】(将来像を前にする)

1. 西宮市総合計画とは
 - (1) 計画の構成
 - (2) 計画の期間
2. 将来像
 - (1) <将来像について(又はキャッチフレーズ等)>
 - (2) まちや人の姿
3. 時代認識
4. 西宮市の現状と課題
 - (1) これまでの総合計画とまちづくりの進展
 - (2) 人口の推移
 - (3) 公共施設の大量更新
 - (4) 経済・財政状況
 - (5) 市民の意識
 - (6) 都市空間形成の現状
 - (7) まちづくりの主要課題
5. 将来像の実現に向けて
 - (1) 都市空間形成の基本的な方向性
 - (2) 将来像の実現に向けて



西宮市審議会総合計画審議会委員名簿

(平成30年5月25日現在)

選任区分	役職	委員氏名	性別	年齢	居住地域 (市内・市外)	職業等	任期	備考
学識経験者	委員	新川 達郎	男	60歳代	市外	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	岡 絵理子	女	50歳代	市外	関西大学環境都市工学部教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	加藤 恵正	男	60歳代	市外	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	客野 尚志	男	40歳代	市内	関西学院大学総合政策学部教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	倉石 哲也	男	50歳代	市内	武庫川女子大学文学部教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	徳久 恭子	女	40歳代	市外	立命館大学法学部教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
学識経験者	委員	藤井 博志	男	50歳代	市外	関西学院大学人間福祉学部教授	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	安東 裕子	女	70歳代	市内	西宮市民生委員・児童委員会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	川東 美千代	女	60歳代	市内	西宮コミュニティ協会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	椿本 和生	男	50歳代	市内	西宮を花と緑にする会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	羽田 英彦	男	70歳代	市内	西宮芸術文化協会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	樋口 賢一	男	70歳代	市内	西宮市環境衛生協議会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	平野 美恵子	女	60歳代	市内	西宮市青少年愛護協議会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	藤田 邦夫	男	60歳代	市外	西宮商工会議所	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	古塚 正治	男	50歳代	市内	西宮市スポーツ推進委員協議会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	水田 宗人	男	60歳代	市内	西宮市社会福祉協議会	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民団体の代表者等	委員	根岸 直代	女	40歳代	市内	西宮市PTA協議会	平成30年5月25日～平成32年1月31日	
市民	委員	石田 清造	男	70歳代	市内	自治会役員	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民	委員	小野 篁	女	40歳代	市内	講師	平成30年2月1日～平成32年1月31日	
市民	委員	水谷 陽介	男	30歳代	市内	会社員	平成30年2月1日～平成32年1月31日	

委員数計 20 人 (男性 13 人、女性 7 人 女性委員割合 35%)